



2月の園だより

～笑顔あふれる
育ちのひろば～
令和7(2025)年2月25日
社会福祉法人 見真会
明光保育園



立春を迎えてから、寒さが一層厳しくなり、久しぶりの積雪に驚かされています。
子どもたちは、「風の子」寒さや感染症にも負けず、雪の中でも元気に走り回っています。

明光保育園では、「笑顔あふれる育ちのひろば」を掲げて、子どもたちの権利に配慮し、一人ひとりの人格を尊重し、養護と教育の一体性の確保や最善の利益を保障する保育を行っています。
子どもたちにも、誰もが唯一の存在として自分を大切に、互いを大切にする心を育てる取組や「男の子だから、女の子だから」などの性差や「お兄ちゃんだから、お姉ちゃんだから」など年齢の違いなどによる古くからの固定的な考え方が固定しないようにも配慮を行っています。

また、職員は、子どもたちの安全管理で必要な際には制止することもあります。子どもたちへの不必要な否定や制止は、子どもの権利の侵害につながることを考え、「〇〇が言っているから」「前から決まっているから」「みんながしてるから」などとルールや禁止事項を押し付けるのではなく、その理由をしっかりと説明することにより、子どもたちが自分たちでルールを正しく理解し、作ったり、変更しながら、主体的に行動を変えていけることを目指しています。

子どもたちの権利の柱は、「生命、生存及び発達に関する権利」「子どもの意見の尊重」「最善の利益」「差別の禁止」と言われています。また、保育園での生活は、子どもたちが生涯にわたって幸福になることに欠かせない「生きる力」の基礎を日々育て、長い人生のスタートを切る最も重要な時期であると考えています。

職員は、この最も重要な時期をチームワークの下、子どもたちの権利を守り、幸福を願って、子どもたちが相互の関係の中で、取り巻く環境にかかわり、興味や関心を広げ、様々な遊びや活動の中での心豊かな体験を重ねることで、一人ひとりの個性が発揮され、多様な能力が芽吹いていくことを保育の専門性を発揮して全力で支援していきます。

子どもたち一人ひとりの「最善の利益」実現に向けては家庭と保育園との協働が欠かせません。保護者の方には、園との情報共有と連携について、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

～幼児クラス生活発表会～

2月8日(土)に織田幹雄スクエアで幼児組の子どもたちは、日ごろの保育の中で取り組んできた、歌を歌うこと、楽器を奏でること、劇を演じることとおして、個性を発揮し表現することができました。

保護者の皆さまには、これまでのお子さんの日々の保育活動や、クラスの仲間と一緒に作り上げ、やり遂げた経験をとおして、一人ひとりの成長を感じていただき、一緒に喜んでいただけたことと思います。



～「命を守る行動」の準備を！～

日本は、世界有数の地震大国で、4枚の大陸プレート・海洋プレートの境目に位置するため、地球上でも地震の起きやすい場所です。地震の揺れは突然襲ってきます。日頃からご家庭でも地震発生時に備えた避難訓練を重ね、親子で防災力を高めていきましょう。

地震が起きた際には・・・

- ①窓から離れ、ものが落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所に集まる。
 - ②床に肘と膝、足の甲をつけ、手で後頭部を抱えるようにして頭を守る。
 - ③避難の際の合い言葉「お・か(は)・し・も・ち」を守る。
 - ④避難経路を確保する。
 - ⑤人数確認をする。
 - ⑥周囲の状況を確認をし、安全な場所へ誘導する。
- ※園では、毎月避難訓練を行い、防災への意識を高めています。

出典：よいこのあんぜんニュース1月号2025年少年写真新聞社



あらかじめ安全への備えを！

- ◎食器棚や窓ガラスの飛散防止対策
- ◎飲料・食料の備蓄とローリングストック
(備える→食べる→補充する)
- ◎非常持ち出し袋の点検、置き場所の確認
- ◎避難経路や避難場所の把握

～乳児運動遊び参観、懇談会～

1月18日(土)に、織田幹雄スクエアで乳児の運動遊び参観と懇談会を開催しました。

ひよこ組、赤組、桃組の子どもたちは、大勢の人たちに見守られ、大喜びではしゃぐ子、驚いて固まってしまう子、泣き出す子など色々な表情を見せてくれました。そんな姿に会場内は和やかな雰囲気にもまれ、終始笑顔が絶えない運動会になりました。



～節分～(2月2日(日))

令和7(2025)年の節分は、地球の公転周期と暦のずれを修正するため、昨年に続いて、2月2日になりました。

園では、2月3日(月)に、節分のついでを行い、ひいらぎの葉とイワシの頭を玄関に飾ったり、いわしを焼き匂いを嗅いだり、自分の中にいる悪い物を追い払うために豆まきをし、1年の健康を祈りました。



日	月	火	水	木	金	土
23 休日保育	24 2月 休日保育	25 体操のひろば (青・黄組) 乳児発表会練習	26 身体測定週間	27 茶道のひろば (白組)	28 	3月1日 乳児生活発表会 白、青組作品展
2 白、青組作品展 休日保育	3 3月の誕生日会 ひな祭り会	4 体操のひろば (青・黄組) 調整会議	5	6 幼児会議	7 乳児会議	8
9 休日保育	10	11 体操のひろば (白・桃組) 理事会	12 避難訓練 (火災、地震)	13 お別れ遠足 (白・青・黄組) お弁当の日	14 遠足予備日 (散歩)	15 新年度説明会 (新入園児)
16 休日保育	17	18 体操のひろば (青・黄組)	19	20 春分の日 休日保育	21 白組 お別れ会	22
23 休日保育	24 卒園式練習 (白組) 身体測定週間	25 体操のひろば (白・桃組)	26	27 卒園式練習 (白組)	28	29
30 卒園式						

園だより担当
園長代理：原田

電話(082)824-7801 (URL) <https://kenshin-meikou.jp>
FAX(082)824-8030 メールアドレス info@kenshin-meikou.jp

子どもの姿と子どもの育ち（園児99人）

～笑顔あふれ、元気に育つ～ ひよこ組 【0歳児 12人】 担任:奥崎 副担任:蒲生

目標『愛情を受け止め、五感を磨き、全身を使って思いを表現できる』子ども

絵本を見たり、歌を歌ったり、遊んだり、散歩では陽の光や風を体感するなど、保育士や他児と一緒に様々な体験をとおして、豊かな五感を育む支援をしています。

子どもたちは、周りの園児や出来ごとに興味を持って、絵本の「だるまさんがころんだ」では、だるまさんの真似して体を揺らしたり、音楽には手を叩いて、振って、リズムを取って、一緒に嬉しさや楽しさなどを全身で表現できたり、他児との関わりも広がっています。

散歩では、冷たい風を身体で感じながら、落ち葉や石を見つけては触ったり、みんなの所へ持ってきて、見つけた！と伝えたり、片栗粉粘土での遊びでは、粉や粘土を夢中で触り、新しい感触に声を出したり、目を丸くしたり、足をパタパタさせて表現していました。

進級に向けては、保育士との愛着関係を基礎に屋上や散歩などで、しっかり動いて、見付けて、聞いて、触って、五感を磨いて興味が広がるよう支援します。



～自分の思い、いっぱい育む～ 赤組 【1歳児 16人】 担任:金井 副担任:森戸

目標『人や周りの物への興味や好奇心を育み、思い思いに行動できる』子ども

子どもたちに「休みの日に〇〇したの?」「ご飯は何を食べたの?」「買い物に行って何を買ったの?」などの声掛けや話をしたり、一緒に絵本を読んだり、散歩などの刺激をとおして、周りのものへのイメージを膨らませ、興味や好奇心が広がるよう支援しています。

子どもたちは、日常生活で見たことや、遊びの中での保育士とのやりとり、家族との会話などを、ごっこ遊びの中で「いってらっしゃ〜い」「気を付けて」「おかえりなさい」などと、他児とのやりとりを楽しみ、みんなと一緒に過ごすことを楽しんでいきます。

また、自分で靴を履いたり、ズボンを脱ぎ着したりと、自分で一人で行えるよ! できたよ! が増えてきています。進級に向けては、遊びや会話を仲立ちして子ども同士の関わりを深め、散歩などをとおして、様々な不思議や驚きを感じ、人や周りの物への興味や好奇心が広がるよう支援します。



～明るく、伸び伸び、自分らしく～ 【桃組 2歳児 16人】 担任:栗林 副担任:倉留

目標『自我と感性を育み、自分から自分の思いを表現できる』子ども

子どもたち一人ひとりが自分の思いを言葉で表現できるように、子どもたちの言葉に丁寧に応え、会話を広げたり、絵本をとおして言葉のやりとりを深めています。また、散歩や戸外遊びで、自然の移り変わりや地域の環境に触れ、生活や活動の輪を広げていく支援をしています。

子どもたちは、遊びの中で「〇〇がしたい」「〇〇を貸して」や、花や空を見て「きれいな花だね」「雲が動いてるよ」と自分が感じたこと、気付いたこと、思ったことを他児と会話をとおして共有し、共感し合えるようになっていきます。また、身体の成長に伴い全身を使って、走ったり、跳びはねたりと活動が活発になっていきます。

進級に向けて、だるまさんころんだや色鬼遊びなど、みんなで約束ごとがある集団遊びを取入れて、個からみんなを意識して他児とのやりとりを深め、明るく、伸び伸び、自分らしい表現や活動ができるよう支援します。



～したい、やりたい、やってみる～ 黄組 【3歳児 19人】 担任:松本 副担任:相原

目標『自分らしさを発揮し、主体的に興味・関心を深め、活動できる』子ども

誰もが自分らしさを表現できるよう、制作活動では、主体的に絵本や季節の行事のイメージから題材を探させたり、素材選びや作り方などで一人ひとりの創意工夫を支援しました。

また、カレンダーや時計からは数字を、カルタやしりとり、みんなの名前から平仮名への興味や関心を育みました。

子どもたちは、自分で選んだ色の折り紙で、自分らしさを表現したり、数字の歌を歌って、数字のイメージを広げたりと、色々なことを学びたい、知りたい気持ちが深まっています。

また、集団遊びでは、ルールが必要なことも学び、子ども同士でルールを伝え合う姿も見られます。進級に向けて、生活発表会や作品展などの行事活動や、日々の保育の中で、自分らしさを発揮できる機会を増やし、したい! もっとやりたい! と好奇心を育み、興味関心を深める支援をします。



～みんなつながり、思い広がる～ 青組 【4歳児 19人】 担任:今田 副担任:乃美

目標『仲間の一人として生き生きと行動し、自分らしさを表現できる』子ども

自分の個性を大切にしながら、仲間を認め合い、クラスの一員として活動することができるように、他の園児の良いところを発表し合ったり、仲間と一緒に遊ぶことのできる簡単なルールのあるカードゲームなどを取入れてきました。子どもたちは、朝や夕の集まりの会などで、「〇〇をしてくれました」など、他児の良い行いを思い出しながら発表することで、仲間を認め合い、周りから良いことをしてもらおうと嬉しいことに気が付きました。これをとおして「ありがとう」と互いに伝え合い、仲間との一体感も育まれています。

また、一緒にカルタやトランプを楽しむ中で、子ども同士で「間違えたら1回お休みするんだよ」「こうしようや」と、自分たちで意見を出し合い、考え、ルールを作り守ることで、さらに遊びが深まってきています。

進級に向けて、自分らしさを大切にしながら、みんなで話し合ったり、考えたり、共通の目標を意識して、新しいことにも挑戦し、仲間とともに生き生きと活動できるよう支援します。



～思いやり、助け合い、行動する～ 白組 【5歳児 17人】 担任:島崎

目標『仲間を思いやり、目標に向かい、挑戦・協力し、やり遂げられる』子ども

自分自身が一日の見通しを持ち、時間を意識して行動できるように、朝の会では、一日の予定を確認したり、常に時計を見て時間を意識するよう心がけています。また、子ども同士のトラブルは、話し合いで解決する場を設けて、自分たちで解決できるよう支援しています。

子どもたちは、予定表を見て、一日の流れを理解して、時間になると片付けや準備、座って静かに待つなど、みんなで声を掛け合いながらできるようになっています。

また、クラス内でのトラブルも、子ども同士が思いや意見を話し合い解決を進めています。これらの中で、助け合う思いやりや連帯の気持ちが育っています。集団遊びでも、みんなでルールを決めたり、アイデアを出して工夫、発展させて遊ぶ姿が見られています。

4月からの就学へ向けは、小学校との交流会などをとおして、入学への不安を緩和し、期待を深めながら、生活発表会などの一つひとつの目標に向かって自分の得意なこと、好きなことをさらに伸ばし、仲間とともに最後までやり遂げることで自信を深める支援をします。